

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2006/8/21 駐在員：山川 祐司

州の両半島を結ぶ架け橋

ミシガン州を地理的に見ると2つの半島（アッパー/ロウアー半島）から成り立っていますが、この2つを結ぶのが、マキナックブリッジ（下の写真）です。橋を使わずに陸路で両半島を行き来しようとする、隣州を経由してミシガン湖沿いに迂回するなどしなければならず、場所によっては相当な時間のロスになりますので、まさに州内交通の大動脈です。

9月には、この橋を歩いて渡るイベントも予定されており、州内外から多くの参加者が訪れる見込みです。

また、ミシガン州では、この橋と湖をカラーで描いた鮮やかな絵柄が自動車のナンバープレートのデザインの一つになっており、町でもよく見かけます。1957年の開通以来、南北の州土を結んで来た全長およそ8キロ、世界有数の規模を誇るこの吊り橋は、ミシガンの象徴的な存在であると言えます。



アッパー半島側からの眺望です。両半島間にはミシガン湖とヒューロン湖が横たわります。